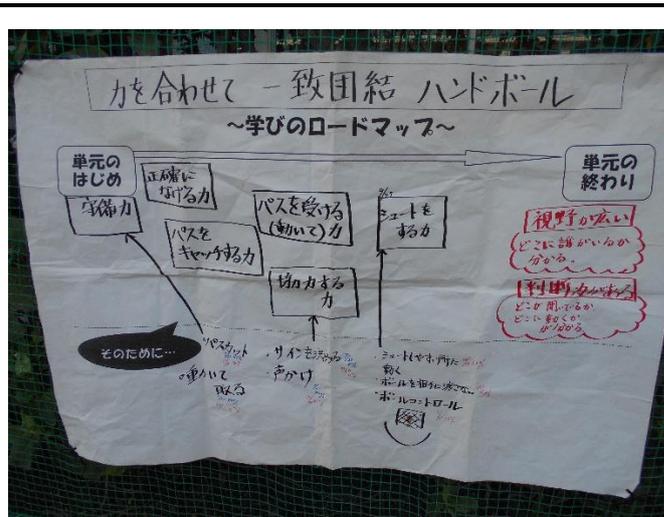


令和5年10月11日(水)校内研究 話題提供授業と協議

6年生 体育科



6年生の体育科の学習では、校庭でハンドボールを行いました。準備運動では、主運動につながる動きを取り入れ、タオルを使い、投球フォームを身に付けられるようにしていました。また、音楽を用いることで、意欲的に運動していました。主運動に入る前に、チームごとで作戦を話し合ったり、チームに必要な動きを練習したりと、自分たちで練習方法を考えて取り組もうとする姿が多くみられました。「チームの全員が得点を入れるとボーナス得点が入る」というルール変更があり、ボーナス得点を得るためにボール運動が苦手な児童にも優しいパスを出したり、転がして渡したりするなど、チームで協力する姿が見られました。また、「円陣くん」という学習カードを作成し、チームごとにカードを囲んで積極的に話し合う姿が印象的でした。今回の授業では、教師の子どもたちへの関わり方や指示の出し方、対抗戦の良さ、児童が運動の特性に触れる楽しさなどを学ぶことができました。

協議会は図書室で国立教育政策研究所 教科調査官 塩見 英樹先生より、本日の授業の成果や課題、ある一つのチーム児童の姿から分かる授業改善点についてご指導いただきました。チームタイムでは、試合で生かせるような状況でシュート練習をすることや、ボールを持たない児童の動きなどを具体的に教えていただきました。本日ご指導いただいたことを今年度の残りの研究に生かし、体育の授業力向上につなげていきたいと思っております。